

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)

こんこうきょうきょうがくけんきゅうしよぎやくでん  
ぎやくでんふぞくしゃ・ようかん  
金光教教学研究所客殿・  
客殿付属舎・洋館

新高総早倉矢井  
見梁社島敷掛原  
市市市町市町市

浅  
口  
市

里笠  
庄岡  
町市



場所

浅口市金光町大谷



時代

昭和時代



指定年月日

平成30(2018)年  
11月2日



所有

金光教



見学

見学不可



## この建造物について

浅口市金光町大谷地区は、金光教の門前町として発展し、数多くの近代建築物を見ることができます。金光教教学研究所は、国道2号金光隧道南側の木綿崎山丘陵に位置しています。

3棟は、昭和5(1930)年に迎賓施設として建設され、渡り廊下を介してつながっており、格調高い面構えです。

客殿は、木造平屋建、入母屋造、銅板葺です。重い屋根を支えるために洋風小屋組み(トラス)構造です。

客殿付属舎は、木造平屋建、入母屋造、銅板葺です。客殿と一体をなす上質なつくりで、客殿の玄関の役割を果たします。

洋館は、木造二階建、寄棟造、スレート葺です。正面に玄関ポーチを配置し、西南隅に塔屋を設けます。

当文化財は、近代の設計手法と伝統木造技術が高度に調和した昭和期和風建築の好例です。